

19 ホザナ

1. ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
主よあなたのみ名あがめます
さんびにみたされて ホザナたからかに
2. ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ほめたたえようこころみたされ
さんびにみちあふれ ホザナ主のみ名を

「すべての良きもので」

(創世記4:4)

イエスを愛せよ 心つくして
かれは私のために死なれた

イエスをあがめよ 心つくして
かれは救いの贖(あがな)いとなられた

すべての良きものを 主イエスにささげます
すべての良きもので 主イエスをたたえます

新聖歌253番 「イエスの御腕(みうで)に」

1 イエスの御腕に その御胸(みむね)に

静かに憩(いこ)う われは安(やす)し

天つ使いの 歌の声も 心に近く 聞こゆるなり

* (下線部くりかえし)

2 イエスの御腕に 抱(いだ)かるれば

罪の力も 何かはあらん 疑いもなく 恐れもなく

悲しみすらも深くあらし * (くりかえし)

3 イエスは常世(とこよ)の 岩にませば

生ける限りは 頼らまほし 栄え輝く 国にさむる

常世の朝を 待ちわびつつ * (くりかえし) アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌437番 「行きて告げよあまねく」

- 1 行きて 告げよあまねく いずこの民にも
心をば変えて 新たにせよと 新たにせよと
* 暗き闇(やみ)もしばし 義の日なるイエスの
輝き世(よ)を照らす 明日(あした)は近し
- 2 歌え 人の心をもたげてイエスにと 行かしむる歌を
うれしき声に うれしき声に * (くりかえし)
- 3 語れ 人を罪より 滅びの中より 救わんがために
降(くだ)りしイエスを 降りしイエスを * (くりかえし)
- 4 示せ 救いの君を 苦しみ給(たま)いし
このイエスのほかに 救いはあらず 救いはあらず
* (くりかえし) アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン